

はじめの一步

第19号
2008.12

もかよがボランティア登録団体 研修・交流会を開催しました！

あいぽーとでは、初めての取り組みとして、登録いただいている団体の皆さんを対象とした、「もかよがボランティア登録団体研修・交流会」を10月に開催し、23団体(42名)の皆さんにご参加いただきました。

研修会では、「NPO法人コミュニケーション・コンサルティング熊本」理事長の河添博幸先生に、「ボランティア・NPOと行政について」という題名で、NPOの役割や、活動の使命、また行政との協働などについて、お話いただきました。

研修会終了後、場所を移して、懇親会を開催し、皆さんの日頃の活動に関する悩み、今後の活動の展望など、活発な意見交換をされていました。

これからも、このような交流会を計画・実施していきたいと考えておりますので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。



ボランティア週間時のパレードに 「あいぽーと」も参加しました！



ボランティア活動をしている人々の連携と、その活動に市民の皆さんが関心を持たれ、自主的にまわつくりに参加される事を目的として開催されている「くまもと市民ボランティア週間」(主催・熊本市社会福祉協議会)は、今年で二十九回目となります。

11月8日に新市街入口から下通りまで行われたパレードには、多くの市民の皆さんが参加され、ボランティアへの関心の大きさを感しました。

あいぽーとスタッフ、おそぎのこホーの行進風景です。



オレンジ色のフルゾンを着ているのが、あいぽーとのスタッフです！！

- ☆ よかよかボランティア登録団体紹介
・NPO法人くまもと子ども人権チーム
・こそだてアシストひよこルーム
- ☆ あいぽーと広報・折々ボランティア募集
- ☆ 年末年始のお知らせ
- ☆ 講演会開催についてのお知らせ

今回の主な内容



・バザーサポート
・きらりネットワーク

あいぽーとボランティア募集

あいぽーとでは、業務をお手伝いいただくボランティアの方を随時募集しています。「ボランティアに参加してみたいが何にかかわらない」「ボランティア活動を通じてお友達を作りたい」方など。

どなたでも気軽に参加できるボランティアとして、一度あいぽーとにご相談ください。現在、広報誌作成のお手伝いをいただく「広報ボランティア」、広報誌を発送する時のお手伝いいただく「折々(おり)ボランティア」(郵送用の情報誌を折り込んでもらうので、この名称になっています)を募集しています。

今回、新しく広報ボランティアに参加していただいた宮本さんと、折々ボランティアの方の作業の様子をご紹介します。



宮本さんです

広報ボランティアに参加しての宮本さんの一言
広報ボランティアとして、編集・取材に参加して色々な事を学ぶ事ができました。あいぽーとの皆さんの笑顔と、一人ひとりの話をしっかり聞く姿勢に感動し、幸せな時間を過ごしています。私、只今48歳。これからの色んな事に挑戦していきたいです。それには「はじめの一步」を踏み出す勇気が大切だと思います。



11月に折々ボランティアに参加していただいた、石原さん(写真左)、佐藤さん(写真右)です。

平成21年度 年末年始のご案内

年末年始の「あいぽーと」の業務は次の通りです。

平成20年12月28日(日)まで

平成21年 1月 4日(日)から業務開始となります。

※ 但し、平成20年12月28日(日)・平成21年1月 4日(日)については、10:00~18:00までの業務となります。

講演会開催についてお知らせ

「聴くことのできる社会貢献」 「傾聴ボランティアのすすめ」

と現在、盛んにマスコミ等で取り上げられている「傾聴」という言葉をご存知ですか？
相手の話に目と耳、そして心を活用し、受容・共感し、相手の気持ちを理解する事です。また、それは相手の心のケアにも繋がります。
この講演会を機会に「聴くこと」の重要性について、考えてみませんか？

◆ 講師 NPO法人 ホールファミリーケア協会
理事長 鈴木 絹英 氏

※ 講師紹介：鈴木先生は、アメリカの「シニア・ピア・カウンセラー」(高齢者の悩みに、同世代のカウンセラーがボランティアで相談にあたること)を日本で初めて紹介し、その理念を原点とした「傾聴ボランティア」を広める活動を展開されています。

◆ 開催日時 平成21年1月15日(木) 14時~16時
(13時30分開場)

◆ 開催場所 熊本市総合保健福祉センター
ウエルパルクまもと 1階 大会議室
(熊本市大江5丁目1-1)

◆ 定員 100名

◆ 参加費 無料

◆ 参加申込 参加申込みは下記の「熊本市市民活動支援センター・あいぽーと」まで電話・FAX、またはメールで、お申し込み下さい。

※主催：・〇 特定非営利活動法人
シニアサポート キーステーション協会
〇 熊本市市民活動支援センター・あいぽーと

【編集・発行】

〒860-0806

熊本市花畑町7番10号 熊本市産業文化会館1階

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと

電話 096(328)2868 FAX 096(322)6677

Eメール shiminkyoudou@city.kumamoto.lg.jp

〒860-8601

熊本市手取本町1番1号 熊本市役所12階

熊本市市民協働推進課

電話 096(328)2036

Eメール shiminkyoudou@city.kumamoto.lg.jp



活動内容

主な活動として、子どもの被害を防ぐプログラムを提供しています。「CAP(子どもへの暴行防止)プログラム」では、PTAや学校からの依頼を受けて、子どもたちにロールプレイ等によるワークショップを行っています。またいじめ防止セミナーや、子どもの権利条約を楽しく学ぶグループワーク等も実施しています。

活動のきっかけ

1989年、国連総会で、「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」が採択されました。その年の4月に、子どもの人権について学ぶ場がほしいと考えた数人が集まり、学習会を始めたのが、活動のきっかけです。

「子どもの人権について学びたい人、語り合いが、仲間となってテーブルを囲む」といった意味が、会の名称に込められています。

市民の皆さんに伝えたいこと

「子どもが暴力の被害者にも、加害者にも、傍観者にもならないように」と願って、子どもの人権を守る活動を行っています。子どもの被害を防ぐためには、おとなの加害を防ぐとともに、子どもの身近にいるおとなが子どもを支援することが大切です。

今後も、子どもの人権が大切にされる社会となるよう、活動を継続していきたいと考えています。



こそだてアシストひよこルーム

活動内容

病気の回復期に入った子どもさん(生後3ヶ月から小学3年生までを対象)を、仕事が休めず、自宅で看病が出来ない保護者の代わりにお預かりする病後児保育や、保育園や幼稚園・学校での発病時に、保護者の要請を受けて、代わりに迎えに行ったり、必要に応じて病院へ診察に連れて行ったりしています。

活動のきっかけ

当ルーム代表が、以前保育園に勤めていた時に、子どもの看病と仕事との狭間で悩んでいる保護者の姿を目の当たりにして、「役に立ちたい!力になりたい!」と思い、立ちあげるようになりました。

開室(平成18年12月)するまでには、地域の方々のお支えを沢山いただき、現在も多くの皆さんに見守っていただいています。

市民の皆さんに伝えたいこと

2ヶ月に1回、当施設の利用者を中心に、郷土料理を作ったり、救急法の講習会等、色々なイベントを行う「ひよこのつどい」を通して、病後児保育だけでなく、保護者同士が子育ての悩みを話し合ったり、仲間づくりの場としても活用していただいています。今、子育て中の方、子育てに興味・関心のある方も、ぜひ一度、お越しください。



熊本市よかよかボランティア登録団体紹介

(各団体の連絡先等は、「あいぽーと」までお尋ね下さい。)



活動内容

パピーサポートは、全国に43頭しかいない、《介助犬》の存在を熊本の方々に知っていただくための広報活動や、介助犬育成のサポートをしています。

具体的には、広報活動として、介助犬によるデモンストレーションやチャリティショーの開催。介助犬育成のサポートとしては、飼育ボランティア募集や、募金活動などを行なっています。

※介助犬とは、身体に障がいをお持ちの方の動作介助として、車椅子を引っ張ったり、落としたものをくわえて渡してくれたり、日常生活のお手伝いをしてくれる犬の事です。

活動のきっかけ

実際に介助犬の育成を行っている福岡のNP0法人「DJ(イン)イベント・ドッグス・ジャパン」の方から、介助犬が九州に一頭もないことを聞き、是非熊本に介助犬を誕生させたいとの想いで、この会を立ち上げました。介助犬を必要とされている方のために、今後も育成支援活動を行ってきたいと思っています。

市民の皆さんに伝えたいこと

一頭の介助犬育成には、費用が300万円ぐらいかかります。運営資金をサポートしていただく、個人会員・法人会員・子供会員・毎月会員を募集しています。

また、会員以外にも、募金活動、デモンストレーションなどのイベント運営をお手伝いしていただける方も募集しています。



きらいネットワーク

活動内容

きらいに障がいをもつ子ども達の育ちは、『同じ障がいをもつ友だち。同じ障がいをもつ先輩との出会い。周りの人たちの理解』が必要です。子供たちが自分の夢をもち、自分の障がいを受けとめ、自分らしく生きていく力を育むための、子ども同士のワークショップを交えた交流や親同士の情報交換、同じ障がいを抱える先輩の体験を聞く会など、子ども達のニーズに合わせてプログラムを取り決め活動しています。

活動のきっかけ

これまで、きらいに障がいを持つ親の会の単独の活動として取り組んでいましたが、療育施設や養育学校・難聴学級の先生方、聴覚障害者情報提供センター等ときらいな子ども達の課題・支援のあり方等を協議していく中で、関係機関・特別支援学校や関係団体等が支援情報の共有化を図り、お互いが連携し取り組みを充実していければと考え「きらいネットワーク」を立ち上げました。

市民の皆さんに伝えたいこと

活動するにあたっては、きらいな・きらいにくい子ども達が、地域や社会の生業、自然体験、伝統文化やスポーツ等、実体験を通して自分らしさを見つけ強く生きていく力を育んでいくイベント・交流会等を進めていく中で、他の団体と結びついた新たな活動、また、地域とのつながりのきっかけが広がればありがたいと思っています。



当会主催、陶芸教室での作品です。